2026 年度/令和 8 年度　事業計画書

認定 NPO 法人　輪母ネットワーク

Ⅰ. 事業の期間

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

Ⅱ. 理事会より

2026 年 3 月、輪母ネットワークは認定 NPO 法人の認定を取得しました。

この認定は、私たちにとってゴールとしての目標ではありません。「支援する側・される側の関係を作らない」という徹底的なピアの理念を実現するために、完全寄付型の団体として活動を続けていくうえで、必要不可欠なものとして取り組んできたものです。

認定 NPO 法人になることで、非営利団体としての信頼性を認められ、寄付者の皆さまが税制優遇を受けられるようになります。それは、私たちの活動に共感してくださる方が、より支援しやすくなるということです。

2026 年度は、認定 NPO として、より透明性の高い団体運営をめざす 1 年となります。また、これまでの地域に開かれたコミュニティとピアの活動の充実を目指します。引き続きどうぞよろしくお願いします。

理事一同

Ⅲ. 2026 年度の全体方針

■ 徹底的なピアの実践と各事業の継続

2025 年度は、年齢別の定例会合という形式から、わははハウスの開所日そのものをピアの場とする運営へと転換しました。決まった時間に集まる「会合」ではなく、それぞれのタイミングでふらっと立ち寄れる場所をめざしています。

2026 年度は、わははハウスの開所を週 4 日・年間 50 週体制の安定を目指し、「いつ来ても、ひとりじゃない」という場所としての機能を確かなものにしていきます。

■ 寄付型団体としての挑戦――徹底的なピアの理念

輪母ネットワークの活動の根幹は、「徹底的なピア」というコミュニティの形にあります。

ピアとは、似たような背景や悩みを持つ者同士の「横並びの関係」のこと。専門家や目上の人から授けられるアドバイスではなく、同じ道を少し先に歩いてきた仲間が、横に居続ける関係性です。それは、答えを示すものではなく、解決を約束するものでもありません。けれど、語ることができない夜に「ひとりじゃない」と感じられる場所として、それぞれの暮らしの中にそっと存在し続けるもの――それが、私たちのめざすピアコミュニティです。

これまで 20 年近く、私たちは障害のある子どもを育てる保護者の会として活動を重ねてきました。その活動の中には、団体として支援者のように扱われてしまったこと、またそれに必死に答えようとした結果、メンバー間の依存構造を生み出すという、後悔と反省の歴史があります。これらの経験を土台に、新しい時代のピアコミュニティを育てるための場所として、現在の輪母ネットワークは、わははハウスを運営しています。

2025 年度には、年齢別の定例会合という形式を見直し、わははハウスの開所日そのものをピアの場として機能させる運営へと転換しました。「決まった時間に、決まったテーマで」ではなく、「それぞれのタイミングで、それぞれの呼吸で」関われる場所として、ゆるやかな関係性が育つことを大切にしてきました。

2026 年度は、この方向性をさらに確かなものにしていきます。わははハウスの開所を週 4 日・年間 50 週体制の安定をめざし、「いつ来ても、ひとりじゃない」という場所としての機能を、地域の中にしっかりと根づかせていくことが目標です。

加えて、個別ピア「ほこほこ」、地域ボランティア事業「ちくちく」、講師派遣、防災ワークブックの配布――これまで育ててきたそれぞれの事業も、ピアコミュニティの理念を中核に据えながら、引き続き丁寧に続けていきます。各事業は一見、別々に動いているように見えても、すべては「孤独や孤立を抱えやすい立場の人たちが、地域でつながりを持てる」という同じ目的に向かっています。

派手な拡大ではなく、丁寧に積み重ねること。それぞれの場で、それぞれのタイミングに合わせて、そっと差し出される時間を大切に守り続けること――それが、2026 年度の輪母ネットワークがめざすピアコミュニティのかたちです。

■ 認定 NPO 法人としての情報公開体制の強化

認定 NPO 法人として、団体の活動・理念・財務をより広く、より分かりやすく伝えていくことを 2026 年度の重要な柱のひとつと位置づけます。

輪母ネットワークが大切にしていること、日々の活動の中で感じていること、そしてこれから向かいたい方向――そうした団体の「今の思い」を、支援してくださる方々に届けるための PR 活動に力を入れます。note・PRTIMES への発信、メールニュースレターの定期発行などを活用し、活動の実態が伝わる発信を拡大していきます。

また、個人情報に十分配慮したうえで、寄付者・ボランティア・物品支援をしてくださった方々のご協力を可視化する取り組みも目指していきます。支えてくださっている方々の存在を、団体として誠実に伝えることもまた、透明性の一部だと考えています。そのための情報管理・発信システムの導入を進めます。

財務諸表・活動報告・事業計画を分かりやすく発信し、寄付者・助成元・地域の方々に対して説明責任を果たすことで、長期的に信頼される団体を目指していきます。

■ HP 改修・システム導入による共感者の拡大

前項で掲げた情報公開の透明性を実現するための、具体的な手段が HP 改修とシステム導入です。

団体の活動・理念・財務を継続的に発信していくことは、それ自体が大きな労力を伴う作業です。発信に時間とエネルギーを取られることで、本来スタッフが向き合いたい事業や、目の前の当事者家族との時間が削られてしまうというジレンマは、小さな団体が情報公開に取り組む際に避けられない課題でもあります。

HP と内部の情報管理システムを整備することで、発信の透明性を高めながら、同時にスタッフが本来の活動に専念できる時間を確保することを目指します。合理化と効率化が、団体の使命を前に進める力になると考えています。

これは、団体全体の事業予算から考えると、大きな投資となります。しかし漫然とした消費ではなく、徹底的なピアを守り続けるための、団体としての意思決定であり、意思表明でもあります。

■ スタッフへの適正な対価の実現

輪母ネットワークは、スタッフへの適正な対価を支払える団体になることを目指しています。

2025 年度は、その第一歩として、スタッフのボランティア活動時間を積算し、財務諸表の注記にボランティア役務提供の評価額として記載しました。無償で支えてくれている時間を「見えないもの」として扱わず、団体への貢献として丁寧にカウントすること。それは、将来の雇用に向けた足掛かりであると同時に、非営利団体としての誠実さの表れだと考えています。

現実として、団体の財政はまだ雇用に踏み切れる状況にはありません。しかしだからこそ、今できることを積み重ねることが重要です。ボランティアの貢献を正しく可視化し、将来の雇用に向けた道筋をつけることもまた、非営利団体としての責務であると、私たちは考えています。

Ⅳ.各事業の計画

Ⅰ.特定非営利活動に係る事業

（1）ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業

【内容】個別ピア（ほこほこ）、わははハウス開所日でのピアコミュニティ運営

【実施場所】わははハウス（大阪市生野区勝山北 5-11-18 1F）、インターネット、電話、訪問他

【実施日時】随時（わははハウス開所日：週 4 日を基本）
【事業の対象者】障害当事者及びその家族

2025 年度は、年齢別の定例会合という形式から、わははハウスの開所日そのものをピアの場とする運営へと転換しました。決まった時間に集まる「会合」ではなく、それぞれのタイミングでふらっと立ち寄れる場所をめざしています。
2026 年度は、わははハウスの開所を週 4 日・年間 50 週体制の安定を目指し、「いつ来ても、ひとりじゃない」という場所としての機能を確かなものにしていきます。

（2）障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業
【内容】地域ボランティア事業、事業所等訪問、連絡会への参加による地域連携
【実施場所】各所
【実施日時】随時
【事業の対象者】障害児者支援者及び支援団体

生野区学童期子ども支援連絡会・地域共生推進委員会・生野区 NPO 連絡会・いくのっこ応援事業実行委員会・大阪市子ども支援ネットワーク連絡会への継続参加を通じて、地域の中での顔の見える関係性を育て続けます。また、「ちくちく」（児童発達支援施設での手づくりおもちゃ制作）も継続し、地域とのつながりを引き続き大切にしていきます。2025 年度に新たなつながりが生まれたミーツ・ザ・ボランティアへの参加も継続し、分野を越えた協働の輪を広げていきます。

（3）セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業
【内容】学習会、講師派遣
【実施場所】各所
【実施日時】随時
【事業の対象者】障害当事者及びその家族、支援者、支援団体

防災・障害をテーマにした講師派遣を継続します。2025 年度は年間 9 件の派遣実績を積み上げました。
2026 年度も「命にかかわる情報に、経済的な壁があってはいけない」という理念のもと、無償配布を原則としたワークブックの配布と、地域への啓発活動を引き続き丁寧に進めていきます。また、地域からの依頼に応じた講師派遣も継続していきます。

（4）コミュニティスペース運営事業
【内容】地域コミュニケーションハブ「わははハウス」の運営
【実施場所】わははハウス（大阪市生野区勝山北 5 丁目 11 番 18 号 1F）
【実施日時】月～金　11 時～15 時 30 分（無料）
【事業の対象者】障害当事者及びその家族、支援者、支援団体、地域の方々

2025 年度はガレージ部分の改修により、道路に面したガラス面を透明にし「外からも中の雰囲気が見える場所」として生まれ変わりました。通りがかりに手を振ってくれる方、ふらりと立ち寄ってくれる方が増えたことは、「地域に開かれたコミュニティスペース」という理念が、空間として体現されはじめた手応えです。

2026 年度は、開所を週 4 日で安定させ、より多くの方が「いつでも来れる場所」として認識できるよう、定期的な開所体制を整えていきます。受益者負担を設けず、経済的な事情を気にせず誰もが無料で立ち寄れる場所であり続けることが、この事業の根幹です。

Ⅴ.その他

1． 本店（事務所）の移転について

輪母ネットワークでは、これまでコミュニティスペース運営事業に利用する「わははハウス」の一部を法人事務所として利用しかかる家賃費用を按分していました。しかしながら、わははハウスの活動が活発になるに伴う処置として、事業部門と管理部門の棲み分けを明確にし会計上もクリアにするために、本店事務所を同じ生野区内に移転予定です。わははハウスの活動及び輪母ネットワークの活動にはこれまでどおり、大阪市生野区勝山北 5-11-18 で実施します。

2． 総会と理事会について

2026 年度は通常総会 1 回（6 月）と理事会 2 回（5 月と 3 月）を予定しています。また、それ以外に、理事を中心とした運営スタッフによる定例のスタッフ会議も毎月実施しています。必要に応じて定款に基づいた団体運営をしてまいります。

2026年度　活動予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

認定NPO法人輪母ネットワーク

（単位：円）

科目			金額		
Ⅰ 経常収益					
	1. 受取会費				
		受取会費	50,000	50,000	
	2. 受取寄附金				
		受取寄附金	2,000,000	2,000,000	
	3. 受取助成金等				
		受取助成金	3,350,000	3,350,000	
	4. 事業収益				
		①ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業	0		
		②障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業	0		
		③セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業	0		
		④コミュニティスペース運営事業事業	0	0	
	5. その他収益				
		受取利息	0		
		雑収益	0	0	
	経常収益計				**5,400,000**
Ⅱ 経常費用					
	1. 事業費				
		（1） 人件費			
		給料手当	2,633,000		
		人件費計	**2,633,000**		
		（2） その他経費			
		業務委託費	1,000,000		
		謝金	0		
		旅費交通費	0		
		通信運搬費	229,000		
		消耗品費	135,000		
		水道光熱費	63,000		
		修繕費	0		
		地代家賃	480,000		
		保険料	2,000		
		諸会費	0		
		支払手数料	5,000		
		広告宣伝費	400,000		
		雑費	0		
		その他経費計	**2,314,000**		
	事業費計			4,947,000	
	2. 管理費				
		（1） 人件費			
		給料手当	327,000		
		役員報酬	66,000		
		人件費計	**393,000**		
		（2） その他経費			
		交際費	0		
		通信運搬費	0		
		消耗品費	53,000		
		地代家賃	60,000		
		諸会費	33,000		
		租税公課	3,000		
		支払手数料	38,000		
		広告宣伝費	0		
		その他経費計	**187,000**		
	管理費計			580,000	
	経常費用計				**5,527,000**
	当期経常増減額				**-127,000**
Ⅲ 経常外収益					
	1.	固定資産売却益		0	
	経常外収益計				0
Ⅳ 経常外費用					
	1.	過年度損益修正損		0	
	経常外費用計				0
	税引前当期正味財産増減額				**-127,000**
	法人税、住民税及び事業税		0		
	当期正味財産増減額				**-127,000**
	前期繰越正味財産額				1,530,006
	次期繰越正味財産額				**1,403,006**

2026年度　活動予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

認定NPO法人輪母ネットワーク

（単位：円）

科目			金額			解説
Ⅰ 経常収益						
1.	**受取会費**					
	受取会費		50,000	50,000		昨年度の約2倍を目標としています。認定NPO法人取得を機に、団体の活動に共感してくださる寄付者を増やす取り組みを強化します。
2.	**受取寄附金**					
	受取寄附金		2,000,000	2,000,000		
3.	**受取助成金等**					
	受取助成金		3,350,000	3,350,000		認定NPO法人として情報公開を徹底し、活動実績を積み重ねることで、助成元から信頼される団体を目指します。
4.	**事業収益**					
	①ピアコミュニティ運営による当事者及び家族支援事業		0			当団体は受益者負担を設けず、収益事業を持ちません。これは「支援する側・される側の関係を作らない」という徹底的なピアの理念を、財務の面からも実践するためです。
	②障害児者の支援者へのサポートを中心とした地域連携事業		0			
	③セミナー実施及び講師派遣による啓発講演事業		0			
	④コミュニティスペース運営事業事業		0	0		
5.	**その他収益**					
	受取利息		0			
	雑収益		0	0		
	経常収益計				5,400,000	
Ⅱ 経常費用						
1.	**事業費**					
	（1）	**人件費**				スタッフへの有給雇用への移行を目指しています。わははハウス開所（週4日×7時間×50週）と各事業運営に必要な事務作業（前年度の従事時間実績をもとに積算）を合算し、大阪府最低賃金1,177円で算出しています。
		給料手当	2,633,000			
		人件費計	**2,633,000**			
	（2）	**その他経費**				
		業務委託費	1,000,000			認定NPO法人取得を機に、団体の情報公開体制を強化するためのHP改修およびシステム導入を予定しています。
		謝金	0			
		旅費交通費	0			
		通信運搬費	229,000			
		消耗品費	135,000			
		水道光熱費	63,000			
		修繕費	0			
		地代家賃	480,000			
		保険料	2,000			
		諸会費	0			
		支払手数料	5,000			
		広告宣伝費	400,000			わははハウスの看板の設置等を予定しています。
		雑費	0			
		その他経費計	**2,314,000**			
	事業費計			4,947,000		
2.	**管理費**					
	（1）	**人件費**				
		給料手当	327,000			
		役員報酬	66,000			監事への役員報酬（66,000円）と、法人運営事務を担うスタッフへの給料手当（327,000円）を計上しています。
		人件費計	**393,000**			
	（2）	**その他経費**				
		交際費	0			
		通信運搬費	0			
		消耗品費	53,000			
		地代家賃	60,000			
		諸会費	33,000			
		租税公課	3,000			
		支払手数料	38,000			
		広告宣伝費	0			
		その他経費計	**187,000**			
	管理費計			580,000		スタッフへの有給雇用移行およびHP改修・システム導入を目指すため、前年度と比較して費用規模が大きくなっています。
	経常費用計				5,527,000	
	当期経常増減額				-127,000	
Ⅲ 経常外収益						
1.	固定資産売却益			0		
	経常外収益計				0	
Ⅳ 経常外費用						
1.	過年度損益修正損			0		
	経常外費用計				0	
	税引前当期正味財産増減額				-127,000	
	法人税、住民税及び事業税		0			
	当期正味財産増減額				-127,000	
	前期繰越正味財産額				1,530,006	
	次期繰越正味財産額				**1,403,006**	

2026年度　事業別予算表（前年度比較版）

認定NPO法人 輪母ネットワーク　（単位：円）　※管理費は別途計上

科目	ピアコミュニティ運営事業			地域連携事業			啓発講演事業			CS運営事業（わははハウス）		
	前年度実績	2026年度予算	増減	前年度実績	2026年度予算	増減	前年度実績	2026年度予算	増減	前年度実績	2026年度予算	増減
（１）人件費	0	170,000	△ 170,000	0	592,000	△ 592,000	0	180,000	△ 180,000	0	1,691,000	△ 1,691,000
給料手当	0	170,000	△ 170,000	0	592,000	△ 592,000	0	180,000	△ 180,000	0	1,691,000	△ 1,691,000
（２）その他経費	56,572	58,000	△ 1,428	0	0	△ 0	590,782	325,000	▲ 265,782	860,798	1,931,000	△ 1,070,202
業務委託費			△ 0			△ 0			△ 0		1,000,000	△ 1,000,000
通信運搬費	55,242	56,000	△ 758			△ 0	212,285	90,000	▲ 122,285	83,057	83,000	▲ 57
消耗品費	1,330	2,000	△ 670			△ 0	34,257	35,000	△ 743	97,233	98,000	△ 767
修繕費			△ 0			△ 0			△ 0	33,550	0	▲ 33,550
水道光熱費			△ 0			△ 0			△ 0	63,058	63,000	▲ 58
地代家賃			△ 0			△ 0			△ 0	480,000	480,000	△ 0
保険料			△ 0			△ 0			△ 0	1,400	2,000	△ 600
支払手数料			△ 0			△ 0			△ 0	102,500	5,000	▲ 97,500
広告宣伝費			△ 0			△ 0	344,240	200,000	▲ 144,240		200,000	△ 200,000
事業費合計	56,572	58,000	△ 1,428	0	0	△ 0	590,782	325,000	▲ 265,782	860,798	1,931,000	△ 1,070,202
事業費合計(人件費混み)	56,572	228,000	△ 171,428	0	592,000	△ 592,000	590,782	505,000	▲ 85,782	860,798	3,622,000	△ 2,761,202
4事業合計												4,947,000